

## 「信頼できる良いスクールの選び方」

スクールを決める前に読んで役立つ小冊子を無料プレゼント！

監修：バイリンガルセンター

綱島校：横浜市港北区綱島西 3-7-19 マリンビル 2F

北山田校：横浜市都筑区北山田 2-11-2

外国語習得をファッションか何かのように考え、流行を追うような気持ちで、何の努力もするつもりのない方には、この小冊子は役立ちません。しかし外国語習得、特に英語が使えるようになりたいと考え、それ相当の努力をするつもりのある方には、数ある様々な英会話スクールの中から自分に合った良いスクールを選択し、その良いスクールで学ぶことにより、より効果的な学習が出来ますので、この小冊子が参考になると思います。

### 1. まずインターネットで複数のスクールの調べましょう。

職場・自宅・通勤通学途中のエリアの中から、スクール視点からの説明ではなく、生徒の立場に立った生徒に役立つ情報が多いスクールを探しましょう。英会話習得には時間が掛かります。2・3回のレッスンで身に付くものではありません。自分が1年や2年、ある一定の期間、無理せず通えるスクールを選ぶことが大切です。

### 2. 月謝制で学べるスクールに行くこと。

月謝制で語学を教えることは、スクールにとってどういうことかを、まず考えてください。それは毎回のレッスンが充実したものでないならば、生徒は翌月からスクールに来ないということを意味しているのです。と言うことは、スクールと担当講師は毎回のレッスンを真剣に行なわざるを得ません。結果的に、充実したレッスンを毎回行なえない月謝制スクールは自然に淘汰されていきます。残っている月謝制スクールは、当然ある程度の高いレベルを維持し、生徒たちに支持されていることを意味します。

### 3. 「英語を外国人に教える教授法」をネイティブ講師に指導するシステムのあ るスクールへ行くこと。

今日、多くのスクールではネイティブ講師がレッスンを担当していますが、外国人に母国語を教える訓練を受けていないネイティブ講師は、単なるお喋りは出来ても、生徒に英語を教えることは出来ません。

それはあなたが日本人であるということのみで、何の訓練も受けずに明日から外国人に日本語を教えるケースを想定したらすぐ分かることです。あなたは助詞の「は」と「が」の違いや使い方を外国人に説明できますか。

日本語教師になるには、420時間の講習を受けて、「日本語教育能力検定試験」に合格しなければなりません。

英会話教師にも、TESOL(Teacher of English to Speakers of Other Languages)や TESL(Teacher of English as a Second Language)や TEFL(Teaching English as a Foreign Language)などの資格がありますが、1週間程度の短期で取れるコースもあり、余り当てになりません。

その点、教授経験豊かなバイリンガル日本人講師がネイティブ講師に日本人への英語の教授法を指導しているスクールなら安心できます。日本人に英語を教えるためにどのようなトレーニングをネイティブ講師に行なっているかを訊いて下さい。ネイティブ講師が日本人の生徒に教えるためのトレーニングプログラムを持っているスクールは良いスクールです。

### 4. ネイティブ講師はよく替わります。でもスクール経営者は替わりません。

ネイティブ講師がどれぐらいの期間そのスクールで教えているかを聞くことは、参考になります。中小のスクールでしたら、必ず経営者に会いましょう。そして経営者の考えや教育方針を聞きましょう。当日、会うことが無理でしたらアポイントを取りましょう。誠実な経営者なら喜んで会ってくれます。

## 5. 体験レッスンで気をつけること。

- 1). グループレッスンなら入会后、自分が学ぶ実際のクラスで体験レッスンを受講すること。何故なら、教える講師だけではなく、年齢差や男女別などクラスメートとの関係も長く続けるためには大切な要素だからです。
- 2). プライベートレッスンの場合にも、入会した場合、自分を担当する講師から体験レッスンを受けましょう。スクールによっては、人気のベテラン講師がもっぱら体験レッスンを引き受けており、入会后実際に担当する講師にがっかりするというケースがあります。
- 3). 担任制でない場合は、レッスン毎に講師とクラスメートが替わりますので、その点にも留意しましょう。
- 4). 必ず複数のスクールで体験レッスンを受け、けっして体験レッスン当日に、入会を決めないこと。体験レッスン受講後、「これから家に帰って検討して、後日、こちらからご連絡します。」と言っても、何かいろいろ言われたり、勧誘されたり、家に電話がきたりする場合は、そのスクールへの入会はお薦めできません。

## 6. 初心者用のカリキュラムがあるか、確認すること。

全くの初心者がネイティブ講師の英語のみのレッスンを、週 1 回程度受けるという学習スタイルは、余程、自分で徹底した自己学習が出来た人でないと、数ヶ月で挫折者を作る準備をしているようなものです。

初心者の学習初期においてはバイリンガル日本人講師からのサポートを受けることも有効です。初心者のためにどのような学習サポートがあるのかも訊ねてみましょう。

## 7. 固定制と予約制

固定制ではレッスンが毎回同じ曜日の同じ時間にあります。語学学習に大切な習慣化がしやすい良い点もありますが、仕事が不規則な方は継続が難しくなります。固定制では休んだ時の救済措置としてたいてい振替制度がありますので、条件や回数などを確認してください。それから固定制場合、途中からレッスン日を変更できるかも確認してください。

予約制ではレッスン日を自分の都合で決め、予約を入れてレッスンを受けます。忙しい方には便利な点もありますが、予約制によくあるトラブルは、自分の都合のよい日時に予約が取りにくいことです。何処のスクールでも平日の夕方以降や週末などはレッスンが集中しやすいので注意してください。

つまり予約制では、必ずしもあなたの都合が優先されるわけではなく、基本的に教室側で「空いている日にちと時間」にしか予約を入れられないのです。また、休みだしたらレッスン日時が決まっていない分、そのままずるずると休みがちになるという危険があります。

## 8. 担任制とランダム制

担任制では毎回同じ先生が担当します。同じ先生が担当しますので生徒の進歩や強弱を理解した細かい指導が出来ます。

ランダム制では毎回担当講師が替わりますので、当たり外れがあります。いろんな先生と会話ができる良い点もありますが、生徒の進歩や強弱を踏まえた細かい指導は困難になります。

## 9. グループレッスンと個人レッスン

グループレッスンでは費用は安くなりますが、レッスン内容が決まっており、生徒一人ひとりが話す時間は少なくなります。グループレッスンでのクラスの最大人数も確認しておきましょう。

個人レッスンでは費用は高くなりますが、レッスン内容を自分専用アレンジでき、講師と一対一ですので、話す時間も充分取れます。

## 10. 解約について

月謝制の場合は問題ありませんが、チケット制の場合はしっかり確認しましょう。現在では解約できないというケースは無いと思いますが、退会手続などは書面で確認しておくことがトラブルを避ける賢明な方法です。チケットは通常一括購入しますが、利用期間が設定されていますので、大量に購入して期限内に使い切れないケースがあるので注意しましょう。

また、中途解約した場合の違約金についても確認してください。契約から8日以内なら無条件でクーリングオフができます。もし8日が過ぎてしまった場合は、レッスンを始める前なら15,000円、レッスンを始まった後なら契約残額の20%、或いは5万円かのどちらか低いほうを契約残額から差し引いた金額を、スクールは受講者に返還しなければならないことが特定商取引法で定められています。

**後記：**ここまで読んでくださり、有り難うございました。この小冊子が、あなたが良いスクールを選択するために、少しでも役立つならば嬉しいです。

語学の習得に近道はありません。でも効率的な学習法はあります。スクールでのレッスンの前に十分なインプットを行い、スクールでのレッスンをアウトプットの場所として活用するなら、あなたの語学はきっと上達するでしょう。楽しむことが長続きする秘訣です。どうぞ楽しみながら頑張ってください。

バイリンガルセンター代表 榑 治満